



『高山祭の屋台行事』ユネスコ無形文化遺産登録



放課後児童クラブの充実(対象を小学校6年生までに拡大)



第2回飛騨高山文化芸術祭こだま〜れ

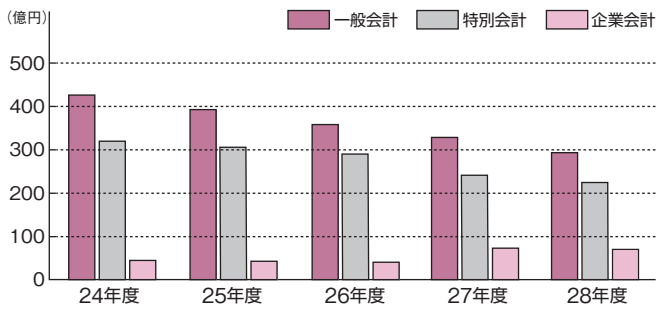
## 特別会計の決算状況

会計名	歳入	歳出	差引残額
国民健康保険事業(事業勘定)	110億9,526万円	109億7,202万円	1億2,324万円
国民健康保険事業(直診勘定)	4億7,627万円	4億2,856万円	4,770万円
下水道事業	31億9,988万円	30億6,928万円	1億3,059万円
地方卸売市場事業	3,251万円	2,877万円	375万円
学校給食費	3億8,031万円	3億8,024万円	7万円
農業集落排水事業	6億8,902万円	6億2,886万円	6,016万円
介護保険事業	89億8,005万円	88億1,646万円	1億6,358万円
観光施設事業	1億1,250万円	1億124万円	1,126万円
後期高齢者医療事業	11億7,064万円	11億1,163万円	5,902万円
計	261億3,644万円	255億3,707万円	5億9,937万円

## 基金(積み立てたお金)の状況【一般会計・特別会計】

基金の名称	28年度末	27年度末	増減
財政調整基金	272億913万円	253億8,360万円	18億2,553万円
職員退職手当基金	33億4,219万円	34億122万円	△5,903万円
庁舎整備基金	7億4,409万円	7億4,179万円	230万円
減債基金	56億4,183万円	56億2,380万円	1,804万円
夢・まちづくり基金	45億8,542万円	49億7,809万円	△3億9,267万円
飛騨高山ふるさと基金	5億9,401万円	5億2,296万円	7,105万円
国際交流基金	1億円	1億円	0
交通・火災災害基金	1億137万円	1億91万円	46万円
高額療養費貸付基金	2,192万円	2,189万円	3万円
福祉健康基金	19億3,800万円	19億3,530万円	270万円
福祉金庫基金	2,857万円	2,856万円	1万円
高齢者等住宅改造資金貸付基金	3,065万円	3,056万円	8万円
災害基金	7,677万円	7,663万円	14万円
ごみ処理施設整備基金	29億3,234万円	26億2,548万円	3億686万円
農業後継者育成基金	2億75万円	2億75万円	0
ふるさと農村活性化基金	3,018万円	3,918万円	△900万円
緑の基金	12億7,113万円	12億7,183万円	△70万円
商工振興基金	7,163万円	7,147万円	16万円
観光振興基金	4億9,466万円	4億9,436万円	30万円
交通安全施設整備基金	※1	364万円	△364万円
土地開発基金	11億7,095万円	9億3,941万円	2億3,154万円
駐車場整備基金	4億2,535万円	4億1,401万円	1,134万円
市営住宅敷金基金	3,978万円	3,976万円	2万円
消防設備基金	※1	589万円	△589万円
教育振興基金	3億5,825万円	3億5,743万円	82万円
市民文化会館整備基金	2億2,517万円	1,511万円	2億1,006万円
文化財等公振興基金	2億890万円	2億819万円	72万円
スポーツ振興基金	3,370万円	3,370万円	0
畜産振興基金	5,546万円	3,865万円	1,681万円
育英資金貸付基金	5億9,990万円	5億9,841万円	149万円
一般会計 計	525億3,211万円	503億257万円	22億2,954万円
国民健康保険財政調整基金	3億2,949万円	3億2,890万円	60万円
公設地方卸売市場整備基金	1億9,675万円	1億9,345万円	330万円
高額介護サービス費貸付基金	251万円	251万円	0
介護保険財政調整基金	5億605万円	5億434万円	171万円
特別会計 計	10億3,481万円	10億2,920万円	561万円

## 市債(借りたお金)の累積状況



	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
一般会計	422億8,657万円	388億6,809万円	354億5,259万円	324億9,176万円	294億965万円
特別会計	317億1,310万円	302億5,161万円	287億8,316万円	238億3,632万円	223億2,119万円
企業会計	43億5,347万円	41億9,744万円	40億2,979万円	72億276万円	70億930万円
計	783億5,314万円	733億1,713万円	682億6,555万円	635億3,084万円	587億4,014万円

市民一人あたりの市債残高(一般会計)

**329,465円**

平成27年度から31,458円減少しました

※数値は万円単位の表示であるため、端数処理(四捨五入)により計と差引しが合わない場合があります。

●各年度末現在高には、各年度における出納整理期間に積立および取崩を行った金額を含む。  
※1 交通安全施設整備基金および消防設備基金は、平成28年4月1日に廃止し、全額取り崩し。

# 決算にみる 市の財政状況

## ●財政力指数

財政基盤の強さを表す指標で、基準値を1として、1を超えるほど財政力が強い豊かであるといえるものです。

高山市は合併直後で0.48になりましたが、平成28年度は0.52でした。

## ●経常収支比率

財政構造の弾力性を表す指標で、人件費や扶助費、公債費といった必ず支払わなければならない固定経費が、市税や地方交付税などの用途を特定しない経常的な収入に対してどれだけ占められているかをみるものです。

率が低いほど臨時的な経費にお金が回ることになります。

高山市は合併直後で85.7%になりましたが、平成28年度は79.8%でした。

問合先 財政課 ☎35-3132